

鹿折まちづくり通信 Vol. 17



制作・発行 鹿折地区まちづくり協議会 発行日：2015年7月30日

鹿折まちづくり協議会に参加しましょう！

鹿折まちづくり協議会（鹿折まち協）は、地区の皆さんの想いをまちづくりに反映するために活動している住民組織です。

こんな活動を行っています：

- みんなの声を聞く：まちづくりサロンや様々な会合でまちづくりに関する話し合いをもっています。
- 行政につなぐ：行政側と定期的な打ち合わせを行い、住民意見を届けます。
- 地区の復興事業に関する情報を収集・提供します。
- その他、鹿折のまちづくりに関することであれば何でも相談いただけます。

事務所の営業時間：

事務局員が下記の時間帯に事務所に駐在しています。お気軽にお立ち寄りください：

★毎週 月・水・金、9:00～16:00

★事務所：鹿折復幸マートA棟2階



- ・気仙沼市新浜町 1-3
- ・路線バス：大沢線「新浜町」

事務局員さんがもう一人増えました！杉浦美里さん、子育て中の若いママさんです。ママたちが気軽に集まれるような場づくりに期待です。

鹿折まち協のH26年度の活動まとめ

年次総会が6月23日（火）に開かれました。

平成26年度の成果は：

- ・ 組織体制の充実：事務局補佐の若手が集まり、鹿折まち協議運営の下支えをしてくれるように。また、構成員が各地区より選出され、月2回集まりを持つようになりました。
- ・ 多彩な活動：月例のまちづくりサロン、役員会や上述の構成員会合のほか、公園に関するワークショップや、子育て座談会、参加型公共施設づくりの勉強会等を開催してきました。また、東松島市や亘理町、神戸市のまちづくり協議会と交流を持ってきました。
- ・ 行政との連携強化：気仙沼市都市計画課土地区画整理室、UR都市機構（UR）と鹿折まち協で定期的に打合せを行っています。

総会の様子



鹿折まち協のH27年度の目標と活動計画

鹿折まち協の今年度の目標は：

- ※ まちづくり体制の強化：地区の皆さんのまちづくりへの参加、関心がまだまだ低いのが現状です。今年度は、当協議会の実働メンバーとなる構成員の拡充（人集め！）と、テーマごとの部会編成を目標の一つにします。
 - ※ まちづくりの検討の具体化：これまで出た色々な意見を具体的にします。分野ごとに、多面的に鹿折のまちづくりを考え、今年度内にグランドデザイン改訂に向けた提言書バージョン2の策定を行います。また、すべて行政に投げかけるのではなく、地区民自身の活動につなげられることを目標にします。
 - ※ 情報発信と収集：広報配布やインターネットを通じて、話し合った内容を広く周知させ、なるべく多くの方の意見を収集、まちづくりに活かしていきたいと思えます。また、引き続き、復興事業の内容や進捗についても発信していきます。
 - ※ 今年度の活動計画：
 - まちづくりサロン：毎月第3日曜日、14時～16時を基本とします。
 - 構成員会合：毎月第2、第4木曜日、19時から、テーマごとに協議を行います。
 - 役員会、事務局運営会議、市・URとの定期会合：引き続き定例的に行いきます。
 - その他、復興事業の進捗に伴い、様々な検討事項を話し合うために、適宜検討会や勉強会を開催します。また、様々な関係者との会合をセットし、地区一体となったまちづくりを促進することを目指します。
- *今年度の予算について。今年度は、去年の繰越と、地区の自治会からのご協力金のほか、宮城県の「みやぎ地域復興支援助成金」を頂きながら活動していきます。



～最近の鹿折まちづくり協議会の活動まとめ～

【市長への要望書提出】

6月19日、鹿折まち協から市長に対して要望書を提出しました。以下のようなことをお願いしました。

- ・ 復興事業に関して、事前かつこまめに住民に対して説明をして頂きたい。
- ・ 防災減災に関して、地区津波避難計画の策定と、津波避難対策の検討をしていただきたい（津波避難については、まちづくりサロンや色々な場でかならず話題に上る、市民の関心ごとのため）。
- ・ 緑のふれあい広場に関して、市街地に近い場所で、ある程度まとまった土地を代替地として確保していただきたい（近々同広場を市営墓地とする計画があり、鹿折にスポーツをする場所が不足しているため）。
- ・ BRT 専用道を上鹿折駅まで延伸していただきたい。

市長には、その場で一つ一つについて真摯にコメントいただき、市として善処する旨お返事をいただきました。



【商業について】

来年秋ごろ開店に向けて、被災した鹿折のかもめ商店街の店主さんたちが、グループ補助金を使った再建方法を具体的に話し合っています。新かもめ商店街として、どのように買い物客の導線確保するかや、商店街としての景観をどうするかといったことなども話し合われています。

その周辺の商業（スーパーなど）については、それぞれ地権者さんと事業主さんが交渉中ようです。

土地を貸したい・売りたい地権者さんと参入希望の事業者さんたちを引き合わせるエントリー制度、秋頃から第2弾が始まる予定です。詳細は、UR 都市機構（21-5253）にお問い合わせください。

【構成員会合】

5月、6月も、引き続き、第2・第4木曜日夜に集まりを持ち続けています。今の話題は鹿折に人を呼ぶための構想について。様々な案が出ています。例えば、

- ・ 安波山登山を起点とした観光ルート
- ・ 鹿折の特色を生かして、水産加工や鹿折金山の見学や、防災などが学べる「お勉強ルート」



安波山を鹿折のまちづくりに活かしたい！それを話し合うため一回登ってみようということで、構成員を中心としたメンバーで7月5日に安波山に登ってきました。



【中みなと町の歩行者専用道路についての検討会】

5月17日に開催した検討会。復興後の道路計画の中で、中みなと町の一か所に歩行者しか通れない所があります。同歩行者専用道路は、鹿折まち協が昨年3月に市長に提出した提言書の項目の一つである、安全に歩ける「みんなの道」が一部反映されたものです。

それに対して反対の意見もあることから、地域全体としてこの問題を話し合うため検討会を行いました。

車を通れなくすると、南側に出来る公営住宅や商店街に行くのに不便にならないか、という意見がありました。他方、安全に歩ける道路はあってもいいのではないかという意見も、特に小さいお子さんをお持ちの参加者から出ました。

市からは、車も通れるようにした場合、西側の区画道路の通行が規制される可能性が高いことが説明されました。また、道路を拡幅すると、その地域の土地の評価が高くなり、その周辺の地権者の減歩率が上がるという問題が出てきます。それに対して抵抗があるという地権者の方の声もありました。

このテーマに関しては、地域として今後も話し合い、年内を目途に方向性を出す予定です。

鹿折地区の復興事業の進捗状況と予定

【防災集団移転】「鹿折北」の団地では、盛り土が終了し、今年度中に引き渡し予定。



団地の様子

気仙沼都市計画事業 鹿折地区被災市街地復興土地地区画整理事業 土地利用計画図

凡 例	
	施行地区界
	嵩上げエリア
	住宅地(普通)
	住宅地(災害公営住宅)
	商業地
	工業地
	河川用地(堤防)
	公園・緑地
	歩行者専用道路
	公益施設



WSの様子

【1号公園(仮称)】6月20日(土)、鹿折の公園づくりワークショップ(第2回)を鹿折中学校で行いました。鹿折川沿いのできる1号公園(仮称)について、2月15日に第1回目ワークショップを開催しましたが、そこで出た意見を反映した公園整備案をURに説明していただきました。中学生が中心となって考えた「青春」をキーワードに、ハート型広場や、歩くと二人の距離が縮まる「青春の道」が形になっていました。漁船を公園におきたい、との意見を活かし、漁船型の遊具も。自分たちが考えたアイデアが実際に計画に反映されていて、中学生たちも嬉しそうでした。「意見が取り入れられて嬉しい」「できるのが楽しみ」という感想が。今後は、今回のワークショップの結果を踏まえ、最終計画が作られることになっています。

【片浜鹿折線(県道)】現在の仮設道路のすぐ東側に本設道路を建設中。H27年8月頃より順次開放する予定。

歩行者専用道路

【災害公営住宅】建設工事が進んでいます。最初の第1工区(東側の3棟110戸)はH28年8月に、第2工区(西側の4棟150戸)は同年10月に、第3工区(真ん中の1棟24戸と福祉センター、集会所)は同年12月にそれぞれ完成予定。

【水産加工施設等集積地】迂回路を通り集積地内を通っていくと、そこかしこで水産加工場の建設ラッシュが見られます。すでに復旧済みが4社、建設中が9社。5月27日には鹿折加工協同組合の事務所の落成式があり、県知事や市長含めての大々的なイベントが執り行われました。今後ますます鹿折の水産加工団地が活気づいていくことが期待されます。

【鹿折川河川堤防】浪板橋付近ではコンクリート被覆が始まっています。



河川堤防

【3号公園(仮称)】鹿折災害公営住宅の南側に隣接する細長い公園。4月18日(日)に検討会を開催し、鹿折まち協で考えた案について話し合いました。グラウンドゴルフなどで高齢者が体を動かしたり、イベントや様々な使い方ができる多目的な広場、子どもも安全に遊べるような場所、震災の記念碑が建てられるようなスペースの確保をお願いし、その配置も提案しました。また、遊歩道の確保、桜並木、芝生化、あずまや、ベンチ、トイレ、水飲み場なども要望しました。その後、それら意見を反映した公園の整備計画が早速作られ、役員会やまちづくりサロンでも発表しました。提案されたことがほぼそのまま活かされた内容となっています(整備計画についてはまたおっしてお知らせします)。



鹿折加工協同組合事務所

集積地内の様子



検討会の様子

8月の行事のお知らせ： ～ぜひお気軽にご参加ください～

※ 8月6日(木) 14:00～ レクイエム・プロジェクト気仙沼 2015 於：気仙沼市民会館大ホール
 ※ 鹿折まち協も後援するコンサート。加川広重さんの巨大絵画と上田益さん作曲のレクイエムの合唱。

活動メンバー募集！

鹿折でいま何かどうなっているのか知りたいという方や、まちづくりに興味がある方、専門的なことは良く分からないけど地域のことをよくしたいという方、自分が将来使う公園や施設について意見を言いたいという方。空いた時間に無理ない範囲で集まってみませんか？まずはサロンや構成員会合などの見学に来てみてください。地元の人たちが和気藹々とおしゃべりしています。



鹿折まち協役員の小野寺さんからのメッセージ

地区民の皆さんに当協議会の活動にもっと参加してほしいと思います。どういうまちにしたいか、それぞれの意見や希望があると思います。まち全体のことを考えるのは難しくても、各人が建てる家や店という、身近な所から、身の周りのことだけでも、こうしてほしい、こうなったらいい、というのがあったら、まちづくり協議会の場に来て話してほしいです。それらを基に関係機関に働きかけます。大きな枠組みは決まっていますが、まだ計画段階のものも沢山あります。行政に全てまかせたり求めるだけでなく、自分からも行動を起こしましょう。



【気仙沼方言アラカルト】

- ・おごご：漬物
- ・いがす：結構です
- ・いだますい：もったいない
- ・あがらいん：家の中にどうぞ
- ・いへもづ：位牌もち／長男
- ・こえーこえ：疲れた

当まちづくり通信は、気仙沼市のホームページでもご覧いただけます <http://www.city.kesenuma.lg.jp>

トップページ ⇒ ジャンル別メニュー「都市計画・まちづくり」 ⇒ 「まちづくり」から

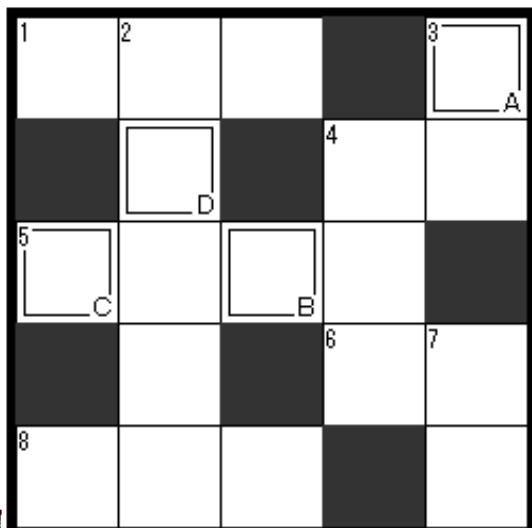
※ Facebook で鹿折まち協の近況や鹿折の復興状況についてアップデートしています。



「[鹿折まちづくり協議会](#)」で検索し「いいね」をクリック！

※メールでのお便りは、shishiori14@gmail.com まで。

クロスワードパズル



タテ

- 【タテ 2】 ふだん。ふつう。
- 【タテ 3】 昆虫のさなぎが成虫になって、羽がはえること。
- 【タテ 4】 自分で命を絶つこと。
- 【タテ 7】 動物の指の先にある、かたいもの。

ヨコ

- 【ヨコ 1】 いろいろな内容をもりこみ、定期的に行われる本。
- 【ヨコ 4】 その時々につけられた物の値段。
- 【ヨコ 5】 個人によって違いがあること。
- 【ヨコ 6】 細長い棒状で断面が丸く、中が空になっているもの。
- 【ヨコ 8】 他の事柄にかこつけて社会や人物を遠回しに批判・非難すること。



□の4文字で言葉を作ろう！ 『 』 ⇒回答は次号

前号の回答： 「スウジ」